

# 鉄筋フック

## RC・鉄筋親綱固定金物

株式会社 協和ロープ

【使用鉄筋径】

32型: D22~D32 41型: D35~D41

【自重】

32型: 0.63kg 41型: 0.92kg

【材質】(32型・41型共通)

本体: SS400(一般構造用炭素鋼)

ボルト: ボロン銅

皿部: S45C(機械構造用炭素鋼)

【使用ラチェットサイズ】(32型・41型共通)

21mm

※締付けトルク値: 35~45N-m



1



2



3



### 3ステップで 着脱簡単

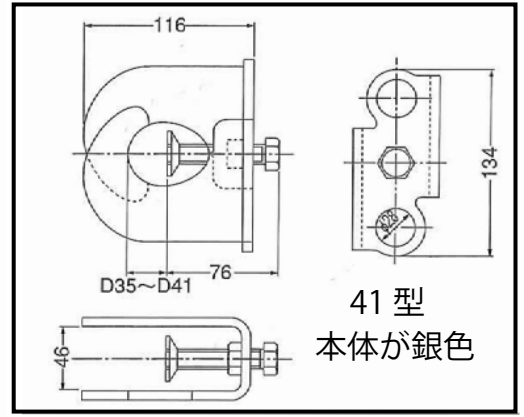
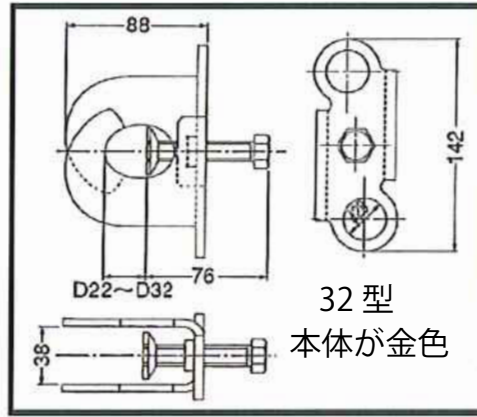
1. 鉄筋に本体を垂直にはめ込みます。
2. 本体を垂直に致します。
3. ラチェット21mmでボルトを締めていき、  
本体を固定します。

(締付けトルクは、35~45N-mにてしっかり固定して下さい。)

鉄筋を塞がない構造は盛り換えを容易にします

# 鉄筋フック | 柱・梁筋から親綱ロープを取る為の墜落防止用金物

適応鉄筋径 32型：D22～D32 / 41型：D35～D41



## ◆ 特長

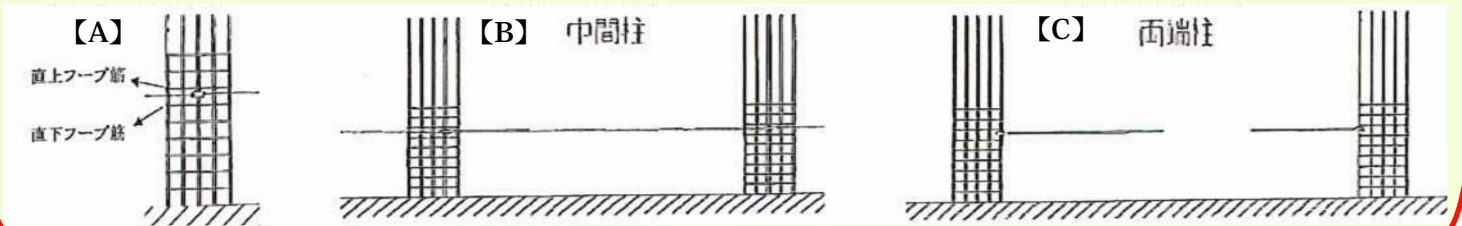
- フープ筋やスターラップ筋のピッチ間にも取付け可能で、取付け取外しが自由にでき、盛換えが容易。
- 焼入れ締付けボルト採用でネジ山・ボルト本体の破損を減少。
- 先端に皿バネが付き、鉄筋に対し安定した締付け固定が可能。
- 重さ 0.63kg でサヤ管タイプに比べ軽量。(41型は 0.92kg となります。)
- 一枚板から製造され、溶接部が無く強度が安定。細かい部品も無い為、部品不良等でのコストも軽減。
- 現場様の整備環境に役立ち、親綱の不良軽減に繋がります。

## ◆ 用途例

- 壁配筋作業・梁配筋作業に。(柱主筋に本体取付け、親綱ロープを取って利用)
- 柱筋フープ巻き作業に。(柱主筋に本体取付け、安全帯を直接引っ掛けて使用)
- 躯体端面や開口部の墜落防止養生用として。(柱主筋に取付け、親綱ロープを設置。標識等を取付ける)

## ◆ 注意事項

- 《1》鉄筋に取付け時の締付けトルクは、35～45 N-m にてしっかり固定して下さい。
- 《2》高さ 1 m 位の位置に取付けて下さい。
- 《3》取付けは必ず、フープ筋にて柱全主筋を結束した状態で取付けて下さい。  
単独鉄筋に取付けると、落下時に鉄筋が曲がってしまいます。
- 《4》鉄筋フックの上下には、図【A】の様に各3段以上のフープ筋を結束して下さい。  
その際、鉄筋フック直上・直下のフープ筋については、特に結束を入念かつ強固に行ってください。
- 《5》図【B】の中間柱の鉄筋フックは、連続する様に両側に親綱ロープをキッチリ取付けて下さい。  
その際は、上記《4》を確実に行って下さい。
- 《6》図【C】の端部柱の鉄筋フックは引張り最内側の主筋に取付け、上記《4》を確実に行って下さい。
- 《7》取付け前には必ず点検して、傷・割れ・変形等が有れば廃棄して下さい。
- 《8》用途例以外の御使用は御遠慮下さい。



株式会社 協和ロープ

本社：東京都荒川区西尾久7-34-10

TEL：03-3800-0726 FAX：03-3810-4355

横浜支店：神奈川県横浜市港北区新羽町166

TEL：045-546-0100 FAX：045-546-1311

千葉支店：千葉県千葉市中央区神明町29-1

TEL：043-248-8210 FAX：043-248-8220